

強度・耐久性試験機による橋梁部材の評価

Estimation of Bridge Parts by Strength and Durability Testing Machine

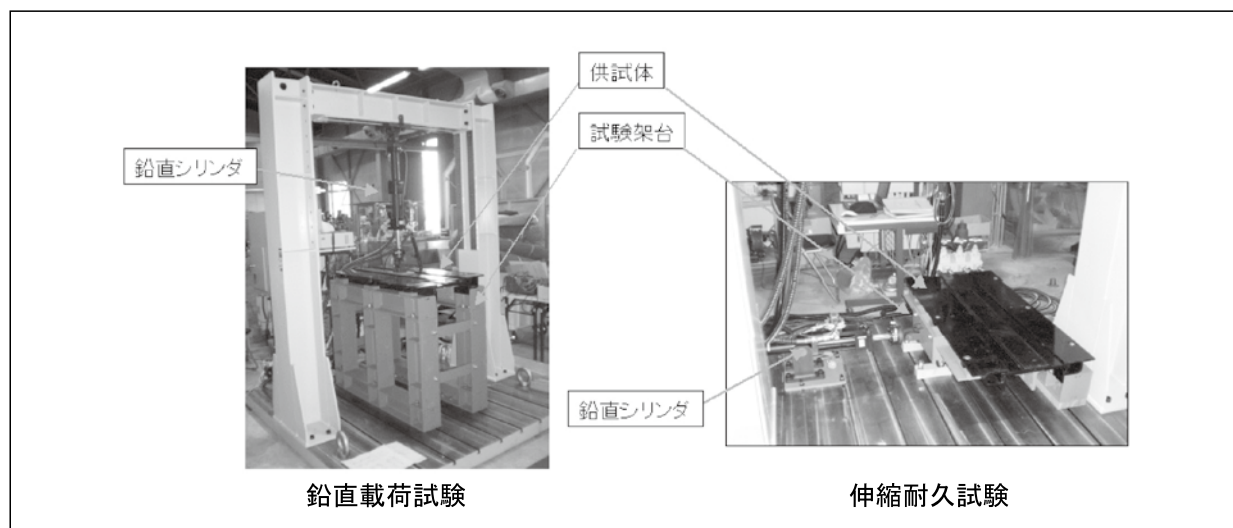
情報システム部 多田 達実

■支援の背景

橋梁には部材の熱膨張による変形や振動による動きを吸収して過度な荷重が発生しないように緩衝構造が必要となります。相談企業は、この緩衝構造を簡便に実現できる伸縮装置を開発しました。実際の施工基準への適合性を評価するため、強度・耐久性試験が必要となり、当场に強度・耐久性試験方法について技術支援が求められました。

■支援の要点

1. 強度試験の方法
2. 耐久性試験の方法
3. 試験結果に基づいた改良案の検討



■支援の成果

1. 試験条件を整理し、効率的な試験方法を検討しました。
2. 本試験により強度と伸縮に対する耐久性を明らかにしました。
3. 強度・耐久性試験結果に基づいて今後の改良方針を明らかにしました。

ダイチ工営(株) 札幌市清田区清田1条1丁目5番1号 Tel.011-883-7220

※本研究で使用した強度・耐久性試験機は、競輪補助事業により整備されました。